

富岡製糸場における犬の入場許可に関する方針について

富岡製糸場では、多くの方が安心して見学できる環境を守るため、犬の入場は 毎年
の狂犬病予防注射を接種している犬に限り許可 しております。

以下の理由から、狂犬病予防注射猶予証明をお持ちの場合でも、入場はご遠慮いた
だくこととします。

1 狂犬病の危険性

狂犬病は発症すれば致死率ほぼ 100%の感染症です。日本は狂犬病の清浄国で
すが、輸入による発生の可能性を完全に否定することはできません。

2 リスク管理の必要性

富岡製糸場は国内外から多くの方が訪れる公共施設です。万一の感染リスクを
最小限に抑えるため、入場条件を厳格に定めています。特に小さなお子様や高齢
の方など、感染症に対して脆弱な方への配慮が必要です。

3 公平性の確保

「猶予証明のある犬は入場可」とすると、一部の利用者から不公平感や不安を
招く可能性があります。一律に「狂犬病予防注射済の犬のみ」とすることで、誰
にとっても分かりやすく安心できるルールになります。

4 施設管理者の責任

富岡製糸場は世界遺産であり、公共施設としてすべての見学者に安全で快適な
環境を提供する責任があります。そのため、例外を設けず、狂犬病予防注射を接
種済みの犬のみを入場対象としています。

ただし、盲導犬、介助犬、聴導犬などの補助犬については、「身体障害者補助犬
法」 に基づき入場を認めております。

<案内例>

富岡製糸場では、多くの方が安心してご見学いただけるよう、犬の入場には毎
年の狂犬病予防注射を接種していることを条件としております。

狂犬病は発症すれば致死率ほぼ 100%の感染症であり、清浄国である日本にお
いても輸入感染の可能性は完全には否定できません。

そのため、予防注射猶予証明をお持ちの場合でも、安全管理と公平性の観点か
らご入場をお断りしております。

なお、盲導犬・介助犬・聴導犬などの補助犬につきましては、法律に基づき受
け入れております。